

湯ノ浦温泉第1、第2及び第3源泉の混合泉（湯ノ浦受湯槽）の
成分、禁忌症、適応症及び入浴上の注意

（今治湯ノ浦ハイツ 地下1階 大浴場2槽・小浴槽1槽）

| 成 分 | | 禁忌症、適応症及び入浴上の注意 | |
|-------------------------|--|--|----------------|
| 1 源泉名 | 湯ノ浦温泉第1、第2及び第3源泉の混合泉 (湯ノ浦受湯槽) | 1 禁 忌 症 病気の活動期（特に熱のあるとき）、活動性の結核、進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合、少し動くと息苦しくなるような重い心臓又は肺の病気、むくみのあるような重い腎臓の病気、消化管出血、目に見える出血があるとき、慢性の病気の急性増悪期 | |
| 2 泉 質 | 低張性弱アルカリ性冷鉱泉 | 2 適 応 症（源泉の分析結果に基づく） 筋肉若しくは関節の慢性的な痛み又はこわばり（関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期）、運動麻痺における筋肉のこわばり、冷え症、末梢循環障害、胃腸機能の低下（胃がもたれる、腸にガスがたまるなど）、軽症高血圧、耐糖能異常（糖尿病）、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状（睡眠障害、うつ状態など）、病後回復期、疲労回復、健康増進 | |
| 3 泉 温 | 源 泉 13.6℃（気温8℃） 使用位置 42.0℃ | 3 浴用の方法及び注意 | |
| 4 温泉の成分 | (1) pH値 7.8 (2) ラドン含有量 23.1×10^{-10} ^{キュリー} Ci / k g (6.34M・E / k g) (3) 試料1k g中の成分及び含有量 | ア. 入浴前の注意 (ア) 食事の直前、直後及び飲酒後の入浴は避けること。 酩酊状態での入浴は特に避けること。 (イ) 過度の疲労時には身体を休めること。 (ウ) 運動後30分程度の間は身体を休めること。 (エ) 高齢者、子供及び身体の不自由な人は、1人での入浴は避けることが望ましいこと。 (オ) 浴槽に入る前に、手足から掛け湯をして温度に慣らすとともに、身体を洗い流すこと。 (カ) 入浴時、特に起床直後の入浴時などは脱水症状等にならないよう、あらかじめコップ一杯程度の水分を補給しておくこと。 | |
| イ 陽イオン | | イ. 入浴方法 (ア) 入浴温度 高齢者、高血圧症若しくは心臓病の人又は脳卒中を経験した人は、42℃以上の高温浴は避けること。 (イ) 入浴形態 心肺機能の低下している人は、全身浴よりも半身浴又は部分浴が望ましいこと。 (ウ) 入浴回数 入浴開始後数日間は、1日当たり1～2回とし、慣れてきたら2～3回まで増やしてもよいこと。 (エ) 入浴時間 入浴温度により異なるが、1回当たり、初めは3～10分程度とし、慣れてきたら15～20分程度まで延長してもよいこと。 | |
| 成 分 | ミリグラム (mg) | ミリバール (mval) | ミリバール% (mval%) |
| リチウムイオン | 0.2 | 0.03 | 0.40 |
| ナトリウムイオン | 92.1 | 4.01 | 54.12 |
| カリウムイオン | 3.3 | 0.08 | 1.08 |
| アンモニウムイオン | 0.3 | 0.02 | 0.27 |
| マグネシウムイオン | 16.5 | 1.36 | 18.35 |
| カルシウムイオン | 37.3 | 1.86 | 25.10 |
| ストロンチウムイオン | 0.2 | 0.00 | 0.00 |
| 鉄(II)イオン(フェロイ) | 0.2 | 0.01 | 0.13 |
| 鉄(III)イオン(フェリイ) | 0.8 | 0.04 | 0.54 |
| 陽イオン 計 | 150.9 | 7.41 | 99.99 |
| ロ 陰イオン | | | |
| 成 分 | ミリグラム (mg) | ミリバール (mval) | ミリバール% (mval%) |
| ふっ化物イオン | 5.7 | 0.30 | 4.17 |
| 塩化物イオン | 97.7 | 2.76 | 38.39 |
| 臭化物イオン | 0.4 | 0.00 | 0.00 |
| 硫酸イオン | 15.6 | 0.32 | 4.45 |
| 硝酸イオン | 0.5 | 0.01 | 0.14 |
| 炭酸水素イオン | 229.7 | 3.76 | 52.29 |
| 炭酸イオン | 1.2 | 0.04 | 0.56 |
| 陰イオン 計 | 350.8 | 7.19 | 100.00 |
| ハ 遊離成分 | | | |
| 非 解 離 成 分 | ミリグラム (mg) | ミリモル (mmol) | |
| メタけい酸 | 42.4 | 0.54 | |
| メタほう酸 | 1.9 | 0.04 | |
| 非解離成分 計 | 44.3 | 0.58 | |
| 溶 存 ガ ス 成 分 | ミリグラム (mg) | ミリモル (mmol) | |
| 遊離二酸化炭素(遊離炭酸) | 5.7 | 0.13 | |
| 溶存ガス成分 計 | 5.7 | 0.13 | |
| ニ 溶存物質(ガス性のものを除く) | 0.5460 g | | |
| ホ 成分総計 | 0.5517 g | | |
| ヘ その他微量成分 | | | |
| バリウムイオン | 0.1 mg未満 | よう化物イオン | 0.1 mg未満 |
| アルミニウムイオン | 0.05 mg未満 | 水酸化物イオン | 0.1 mg未満 |
| 総クロム | 0.005 mg未満 | 総硫化水素 | 0.05 mg未満 |
| マンガンイオン | 0.011 mg | チオ硫酸イオン | 0.1 mg未満 |
| 銅イオン | 0.007 mg | 亜硝酸イオン | 0.1 mg未満 |
| 亜鉛イオン | 0.005 mg未満 | りん酸イオン | 0.1 mg未満 |
| カドミウムイオン | 0.0005 mg未満 | 総ヒ素 | 0.005 mg未満 |
| 総水銀 | 0.0005 mg未満 | セレン | 0.001 mg未満 |
| 鉛イオン | 0.001 mg未満 | | |
| 5 温泉の分析年月日 | 平成28年 2月 2日 | | |
| 6 登録分析機関の名称及び登録番号 | 愛媛県立衛生環境研究所 第1号 | | |
| 成分に影響を与える項目 | | | |
| 1 冷泉のため、加温しています。 | | 2 衛生管理のため、循環ろ過装置を使用しています。 | |
| 3 衛生管理のため、塩素薬剤を使用しています。 | | | |



愛媛県今治保健所

平成28年5月16日